

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

☒ 市長

☒ 教育長

☐ 監査委員 ☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 産業振興にもつなげる教育文化資産の創造について

(1) 県立大学に理系学部を新設する方向性について

- ① 令和5年1月12日の新聞報道によると、文部科学省はデジタル化や脱炭素などの成長分野の人材を育成する理工農系の学部を増やすため、公立大と私立大を対象に3000億円の基金を活用して約250学部の新設や理系への転換を促すとの報道があった。

市長はかねてより県立大学に理系学部の新設を模索しておられたが、報道を受けて、報道の前後で何をされたか。さらには今後の対応について、その認識を伺う。

(2) 県西部の歴史文化行政について

- ① 自然系の県立施設は、出雲に宍道湖自然館ゴビウス、大田に三瓶自然館サヒメル、県西部にはしまね海洋館アクアスと地理的に偏りを感じない。

しかし、歴史系の県立施設は松江に八雲立つ風土記の丘と埋蔵文化財調査センター、出雲には古代出雲歴史博物館と古代文化センターといった歴史博物館等の歴史系の施設が4施設もあるが、県西部には歴史博物館のような歴史系の県立施設はない。この偏在をどのように認識しているか、伺う。

- ② 今年で鎌倉幕府から任じられて三隅氏が発祥して800年になる。周布氏の時代には朝鮮との交易の歴史もある。今後、掘り起こして評価を高めていきたいと考える歴史的資産は何か、その項目を伺う。

- ③ 浜田は石見神楽発祥の地でもあり、県西部の歴史的資産を発掘する拠点として、均衡ある県土発展の観点からも県西部を包括する視点での県立の歴史博物館を浜田に誘致することを検討してはと思うが、その認識を伺う。

2. 安心安全な地域づくりについて

(1) 外国資本による土地購入に対応する条例について

- ① 外国資本によって島の半分を購入したとか、水源地を取得したとかの情報を耳にする。国も法制化して対応しはじめたが限定的である。住民に不安や不利益を与えないように研究を重ねておく必要があると思うが、現状を伺う。